

The 53rd Annual Art Exhibition of Tokushima Prefecture

第 53 回

徳島県美術展

県展

会期 ■ 第1期：平成10年11月7日(土)～15日(日) ■ 日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・デザイン
第2期：平成10年11月17日(火)～24日(火) ■ 書道(前期11月17日～20日・後期11月21日～24日)

県展

県展

県展

県展

県展

会場 ■ 徳島県郷土文化会館

主催 ■ 徳島県美術家協会・徳島新聞社・徳島県民文化祭開催委員会

第2回 徳島県民文化祭主催事業

第53回

〈平成10年度〉

徳島県美術展

作品集

日 本 画
洋 画
写 真
彫 刻
美 術 工 芸
書 道
デ ザ イン

主催

徳島県民文化祭開催委員会

徳島県美術家協会・徳島新聞社

後援

N H K 徳島放送局・四国放送・徳島県文化協会

審査員

(敬称略)

①住所 ②所属団体・役職名 ③受賞歴など。



【日本画】 那 須 勝 哉

①東京都②日展評議員、武蔵野美大日本画学科主任教授③日展会員賞・内閣総理大臣賞など。



【書道】 杭 迫 柏 樹

①京都府②日展会員、日本書芸院常務理事、読売書法会理事③日展特選など。



【洋画】 藤 田 吉 香

①神奈川②国画会会員、京都造形芸術大名誉教授③安井曾太郎記念賞、宮本三郎記念賞、紺綬褒章など。



【書道】 藤 木 正 次

①東京都②日展会員③日展特選など。



【写真】 高 田 誠 三

①大阪府②大阪芸大教授、全日本写真連盟理事③アサヒカメラ広告写真コンテスト一等等など。



【書道】 吉 田 成 堂

①北九州②創玄書道会常務理事③日展特選など。



【彫刻】 番 浦 有 爾

①京都府②新制作協会会員③新制作展新作家賞、昭和会展優秀賞、京都美術文化賞、京都府文化功労賞など。



【デザイン】 早 川 良 雄

①東京都②東京アートディレクターズクラブ評議員③大阪府芸術賞、毎日産業デザイン賞、講談社出版文化賞、紫綬褒章など。



【美術工芸】 宮 田 亮 平

①東京都②日展会友、東京芸大教授③日展特選、日本現代工芸大賞・文部大臣賞など。

審査員総評



〈写真〉

審査員 高田 誠 三
(大阪芸術大教授)

各地の県展を審査しているが、徳島のレベルは高く、作品に対する作者の迫力を感じた。県展にかけている人が多いのだろう。若い人の出品が多いこともすばらしい。ただ、ぶれたり、ピントが悪かったり、カメラを過信した作品が見られたのは残念だ。

写真は物語性が大事だ。いい小説を読んだときにジーンとくるように、映像から物語性がにじみ出て、鑑賞者の想像を誘発することが不可欠だと思う。入選と落選の差は、物語性という「心」と、カメラを使う「技」が一体になっているかどうかにか

ある。入賞作品は、まさに心技一体の作品だった。

徳島新聞社長賞の多川静守「乾杯」は、若者が輪になって乾杯している姿を、日ごろは見ることのない下からの視点で撮っていて目を引いた。円形がリズム感を生み出しているし、ストロボの当て方もうまく、熱気が伝わってくる。非常に計算している作品だ。

特選・志摩育美「まなざし」は、かくれんぼをしていた魚がふと顔を出したような瞬間をとらえた。女性的な感性で、おとぎの世界を感じさせる。水中写真は多かったが、ただ撮っただけではだめ。この作品には夢があって見事だ。

特選・竹内勝「母」は、子供たちの写真を見る母親の、しわくちゅの手だけを写し、顔を省略したことが想像をかき立てる。母親の苦労や昔を懐かしむ心情がにじみ出ている。もう少し、しわの質感が出ていれば特別賞になっていたかもしれない。

特選・前坂祥文「社（やしろ）」は、夜の神社で神馬などに赤い光を当てて撮った三枚の組み写真。主役でないものを主役化し、普通は見られない世界を作り出した。アイデアによって、異様さを感じさせる心象風景に仕上がっている。



〈彫刻〉

審査員 番 浦 有 爾
(新制作協会会員)

抽象と具象の出品はほぼ同数だが、抽象作品にレベルの特性を生かした手慣れた表現が見られた。一方、具象作品はデッサン力が少し弱いように感じた。

双方に共通することだが、余計な要素が入ると、イメージがぼやけてしまう。例えば、作品に対して台座の主張がうるさ過ぎるものが数点あった。台座の有無や台座の素材選択、作品本体とのバランスなど、細かいところまで気を配ると、良くなるだろう。

審査では造形の技術、デザインの斬新（ざんしん）さなど、基本的な要素を踏まえたうえで、彫刻の持つ力強さ、直感的に迫ってくるインパクトの強さを重視した。

四国放送社長賞の笠井正彦「コンセンサス」は、有機的な帯状のフォルムが印象的で、中央の赤い石がアクセントとなって全体を引き締めている。黒と白の石をつなぎ合わせる加工技術も完成度が高い。

準特選の蒔田寿「Derive frtm…」は、木の素材を生かして、重量感あふれる球体に流星のような三本の尾を組み合わせ、動きを出している。単純なデザインだが、力強く、優れた構成員を感じる。特選を最後まで争った水準の高い作品だ。

同じく準特選・渋谷吉昭「愛の言葉が聞きたい」（裸婦像）は、二本の足でしっかりと立った感じが力強く表現されていて、堂々とした重量感がある。デッサン力もしっかりしているので、細部の作り込みを少し詰めると、もっとよくなるだろう。

写真



特選・徳島新聞社長賞 乾杯 多川 静守

写真



招待 トルコ富士 増田 清次



招待 雪の日に 井上 光雄



招待 紅葉無限 勝西 雅夫

招待 二人の世界 西條 征二



招待 あかつき 木田 英之



招待 空しき役目 藤井 梵

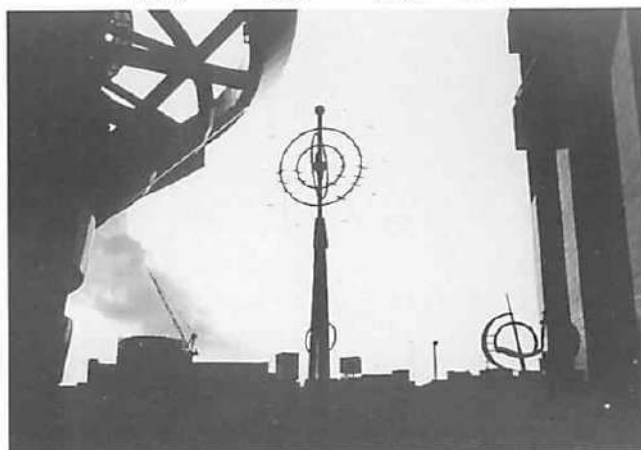


招待 梅華 武内 亨



招待 残照 笹田 敏雄

招待 View 酒井 博司





招待 沈黙 柳沢 魏



招待 エベレスト 三好 和義



招待 路地裏 上野 照文



招待 浜風景 森 賢一



招待 景 橋本 圭祐



招待 男 荒井 賢治



招待 夏曉 安長 剛



招待 秋光 前浦 芳久



招待 尾道寸景 林 敏彦



招待 冬の草千里 多田 晴美

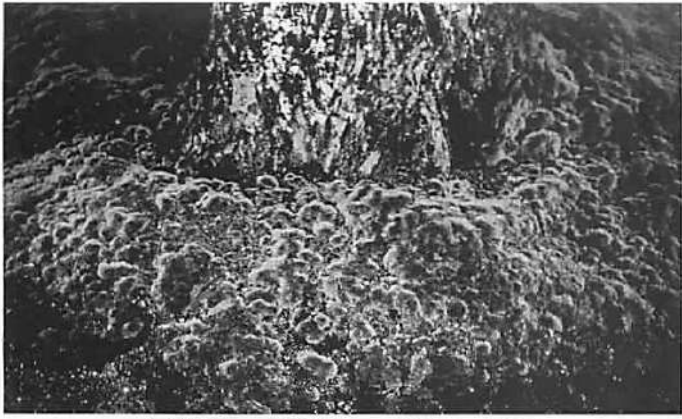
招待 風と光の鎮魂曲 古井 謙吉



招待 遠足 中野 建吉

無鑑査 三姉妹 柳本 正





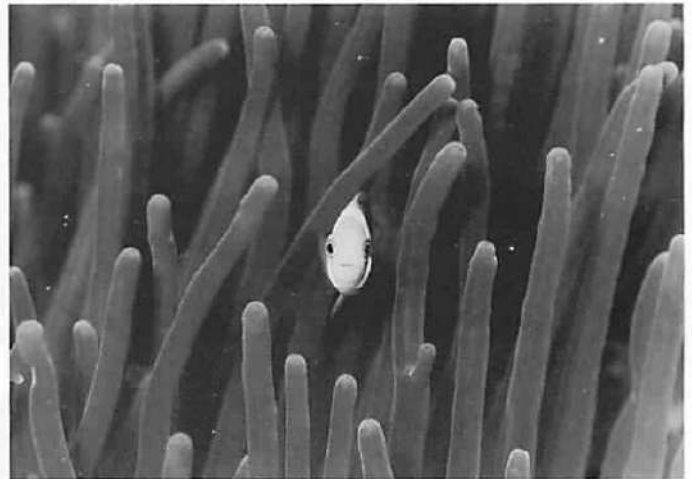
無鑑査 雨日 井藤 光章



準特選 樵 森内 昭男



特選 母 竹内 勝



特選 まなざし 志摩 育美



準特選 静気 岡村 清



特選 社(やしろ) 前坂 祥文



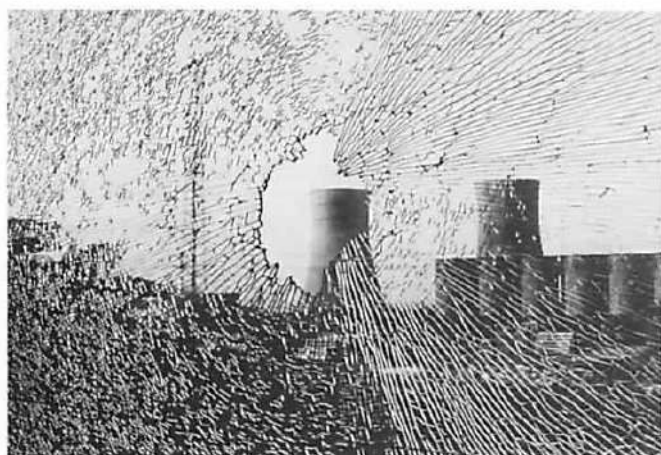
準特選 妊馬 谷 賢太郎



奨励賞 真夏の仲間 稲井 芳男

準特選 夏の日 堀口 幸男





準特選 予感 吉村 敏嗣



準特選 恭子 増田 寿



準特選 月光の里 小原 治



準特選 赤い灯 川真田慶治



奨励賞 ちょっと失礼 河田 清

奨励賞 冬景 久保 英樹



奨励賞 雀 木下 昇



奨励賞 野焼き 清水 宗保





奨励賞 躍動美 大西 穂積



奨励賞 秋 形田 耕一



奨励賞 出番前 野藤みきよ

第53回県美術展出品・入選等状況

区 分		日 本 画	洋 画	写 真	彫 刻	美術工芸	書 道	デザイン	計
出 品 数		63	265	1,290	31	154	1,227	128	3,158
人 数		57	188	253	27	118	800	99	1,524
入 選	率	60.3%	43.8%	18.3%	61.3%	59.7%	41.0%	42.9%	48.8%
	特 別 賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	特 選	2	3	4	1	2	8	2	22
	準 特 選	3	5	8	2	3	13	3	37
	奨 励 賞	1	5	8	2	3	13	3	35
	入 選	32	103	216	14	84	470	47	966
	計	38	116	236	19	92	504	55	1,060
落 選	率	39.7%	56.2%	81.7%	38.7%	40.3%	59.0%	57.1%	51.2%
	落 選	25	149	1,054	12	62	723	73	2,098
特 別 等	特別出品		3		1	1	5	1	11
	招 待	8	9	21	6	7	38	3	92
	無 鑑 査			2	1	1	3		7
	賛助出品	3	11		1	2	1	1	19
	計	11	23	23	9	11	47	5	129
展 示 数		49	139	259	28	103	551	60	1,189

◎特別賞は特選の内数である。